

会報

かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和 1 年 8 月 1 日
第 51 号
発行者
神山則幸

平成から令和に



令和元年度の
の会員数は、
川口班二一七
名、蕨・戸田
班七四名、草

加班九二名、朝霞班一〇八名の総
勢四九一名になりました。今年度
は役員の改選もあり、新たな体制
でスタートしました。

平成三一年の年始めから四月ま
では「平成最後の〇〇」という言
葉が頻繁に使われ、五月に入ると
「令和初めての〇〇」という言葉
が飛び交っています。平成元年は、
昭和天皇のご逝去に伴う改元のた
め静かな幕開けとなりましたが、
令和元年は、お祝いムード漂う改
元となりました。

私事です、平成三一年四月に
「皇居勤労奉仕団」の一員として
四日間の奉仕作業に参加してきま

支部長 神山 則幸

した。普段入ることのできない皇
居の中で、草取りや落ち葉掃きな
ど、宮内庁の職員の指導のもと貴
重な体験をしてきました。特に、
「お会釈」という天皇皇后両陛下が
勤労奉仕団に対して、直接お言葉
をかけていただく機会がありまし
た。平成最後のお会釈ということ
で両陛下の穏やかな笑顔が印象に
残っています。

教育改革と人づくり



退職後は、
釣りや山歩き、
ゴルフ、旅と
楽しんでい
る。
大物の岩魚が

釣れる醍醐味や大物を釣り上げる
直前に逃げられる悔しさは忘れら
れない。帰ってきて、すぐに再チ

さて、教育界に目を向けますと、

新学習指導要領の全面実施が、小
学校では令和二年度から、中学校
では令和三年度から始まります。
将来予測の難しい時代を生き抜い
ていく児童生徒の育成を目指した
教育改革であり、特色ある学校運
営が問われています。大変な時代
を迎えようとしています。が大
変」とは「大きく変える」ことで
もあり、現職校長先生方の腕の見
せ所でもあります。退職校長会と
しても支援体制が取ればと思っ
ています。

また、令和の時代は「人生百年の
時代」ともいわれています。人と人
との繋がりが健康長寿の秘訣でも
あり、「会員の皆様の親睦と福祉の
増進を大切にして」と思っています。

朝霞班 五十嵐 由和

ヤレンジが楽しみになる。次回は、
糸は何号にしようかと考える。ゴ
ルフも同じである。楽しいから次
に向けて工夫し学ぶ。

さて、現役の頃、「子供たちに、
楽しさを味わわせる授業ができた
だろうか。」先生方に教育の楽しさ
を伝えることができただろうか

思う。

教育改革が進む今、学習指導要
領改訂の経験を思い出す。当時は
「新しい学力観」「生きる力」「言
語活動」などの言葉が躍った。私
の実践は、いつも新しい言葉だけ
が空回りしていた。ある時、先輩
に「新しい学力観は目の前の子供
の学びにある」と教えられた。教
室に行ってみると子供たちの活動
や表情の中に子供の学びが映しだ
されていた。本質を忘れていたこ
とに気付かされた。

今、各学校では三つの資質・能
力の育成、「主体的・対話的で深い
学び」のある授業づくりに取り組
んでいる。私のように言葉だけが
空回りしなければと願う。学習指
導要領の解説に「教師と生徒・児
童が、共に考え、共に語り合う」
という言葉がある。振り返ってみ
ると子供と語り合い、学び、感動
を共有した授業は楽しかった、

是非、現役の先生方には、「授
業が楽しい。楽しいから学ぶ」そ
んな改革であってほしい。

教育改革の成否の鍵は、人づく
りを担う校長先生にかかっている。
退職校長として校長先生方への応
援団でいたいと願っている。

新会員短信

感謝と新たな一歩

草加班 村山 岳視

三十八年間の教職生活に一区切りをつけ、新たな一歩を踏み出しました。笑顔あふれる子供たちに出会えたこと、保護者、地域の方々に支えられたこと、すべてに感謝の気持ちでいっぱいです。「一期一会」とよく言われますが、たくさんの方との出会いがあり今の自分があると思います。そんなことを初任の先生方にも伝えていきたいと思えます。

変わらないもの

草加班 川崎 淳一郎

自分はある年のまま変わらないと思えた職場、学校の子どもの歌が聴けなくなったり、部活動や行事のがんばりが見られなくなったりと少しさびしいが、初孫の成長に微笑み、新しい職場へ若い頃と同じように長距離自転車通勤をする。変わらないものを大切に新たな変化を柔軟に受け入れていく。やさしい心と健康な体で新しい時代を新しい出会いを生きていく。

上善如水

川口班 春山 正実

先輩、同僚、家族に支えられ、三十六年間の教職生活を全うすることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。四月からは、初任者指導で三校にお世話になっていきます。毎日、生徒の明るく元気な声に活力をもらっています。今後は、上善（この上なく善く生きる。悔いを残さず人生を全うする）如水（水の如く器に応じて形を変える柔軟性・より低い所へ流れる謙虚さ・時に暴風雨のような情熱を心掛けて努力してまいります）。

学校よさ みいつけた

川口班 高橋 光代

平成最終年度に退職し、令和元年度に初任者指導として、川口市内の小学校に勤務しています。週五日、三校をまわらせていただき、先生方の言葉かけの温かさ、にふれ、心がふれあう時間を感じる日々を過ごしています。目の前の児童の成長に直接かわることができ、引き続き川口市の教育に携われることに感謝し、学校よさを広めていきます。

新たなステージ

川口班 加藤 祐子

四月から縁あって、川口市立教育研究所で教育相談を担当する相

談員として引き続き充実した毎日を送っています。学校生活にまず立ち止まる子どもたちが勇気を出して一歩踏み出せるよう、現場とは異なる立場で保護者や子どもたちの悩みや思いに寄り添い受けとめることができればと思いつつ、改めて人を育てる難しさとともにやりがいを感じる日々です。

感謝と挑戦

川口班 佐藤 俊博

三十八年間中学校現場一筋でお世話になりました。保護者、地域の皆様には大変お世話になり感謝の気持ちで一杯です。四月からは、川口市教育研究所で教育相談員として適応指導教室での久しぶりの授業や教育相談に挑戦している日々です。休日は、ゴルフに挑戦して気ままに楽しんでいきます。

定年後もやり甲斐を持って

川口班 浦谷 信一

四月から拠点校指導教員として後進の指導にあたっています。心機一転、処も立場も変え、子供から元氣・パワー・笑顔をもらい、新たなやり甲斐を得て充実した毎日を送っています。今日の教育界の大きな潮流の中、諸課題と奮闘する現場の先生方を微力ながら支援できれば幸いです。定年後も

やり甲斐のある仕事に携わることができ、感謝しています。

引き継ぐ

朝霞班 入山 尚浩

上の世代から受けた恩を、すべて返すことは無理だと思うようになった。なぜなら、あまりにも、大きすぎるからだ。

だから、どうせだったら、それらを惜しみなく、下の世代に引き継いでいこうと考えた。すると、新たな学びや発見、面白みがあり喜びが生まれるようになった。年齢を少し重ねて、そのことが分かってきた。

お返し

川口班 三林 和晃

たくさんの方の職員、保護者、地域の方々に支えられ、校長の仕事を終えることができました。

本年四月より、拠点校指導教員として二校五名の指導にあたりたいです。「教育とは与えていただいたものを、後から来る者にお返しする営みである」の言葉を胸に、これからの埼玉教育を担う若い先生方に少しでも多く、お返ししていきたいと思えます。

初心を忘れず

蕨・戸田班 岡田 仁一

三十八年間の教職生活に一区切りをつけ、四月からは再任用とし

て、日本語指導を担当しています。これまで多くの方にお世話になったことに対し、心より感謝しつつ、初心を忘れず、新たな気持ちで勤務に励んでいます。

休日には少しゆとりができました。庭いじりや孫と過ごす時間を楽しみに、のんびりした時の流れを感じています。

選 近

川口班 守屋 進

初任の学校で退職を迎えることができ、幸せな教職生活でした。

いろいろな人と出会い、皆様にご指導をいただきました。『人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に。』正しく逢うべき人に逢え、感謝ばかりです。サラリーマン川柳に、定年前の大仕事とありました『趣味探し』を、今から頑張ろうと思います。

近況報告

川口班 高橋 利昌

新採用教員として着任した領家中学校に教員生活最後の三年間を校長として勤め、定年退職いたしました。赴任する先々の学校や職場で多くの方々と出会い、支えられ、助けられ、育てていただいた幸せな教職人生でした。今年度は、今まで学ばせていただいたことを

初任者指導教員として恩返しする場を与えていただいております。今の先生方は真面目ですね！

還暦そして再起動

川口班 鈴木 日出彦

還暦六十歳は、十干十二支が一回りして生まれ変わる節目と聞いたことがあります。

四月からは文化庁の職員として毎日、毎日電車にもまねながらの都内勤務で、国の芸術文化行政の一端を担う仕事をしています。まさに新たな職と仕事で生まれ変わったの再起動の気持ちです。これまでの経験も生かしつつ、元気に働いています。

日日は好日

蕨・戸田班 上原 和代

定年退職を迎え振り返ってみると、多くの人と出会い、また支えられて三十八年間の教員生活を全うできたと感じの気持ちでいっぱいです。今は初任者の育成に携わりながらも、心と時間にゆとりができたことで、毎日の生活を見直し、新しいことにわくわくしながらチャレンジしています。これからは、毎日を楽しみながら日日は好日でありたいと思っています。

今、思うこと

川口班 池内 淳一

「人、皆に美しき種子あり 明日

何が咲くか」といろいろな子供たちと出会い、たくさん時間を過ごしてきました。喜びも悲しみも、悩んだこともたくさんあります。最後は、子供たちの成長や変容に学ぶことばかりでした。これも、多くの先輩、同僚、地域の皆様や保護者の方々の支えがあったからのことと、感謝の気持ちで、これまでを振り返っています。

理科教師として再スタート

川口班 足立 泰行

四月より、理科専科として青木中央小学校にフルタイムで働いています。川口に異動した初めての学校が青木中学校でした。現在は教えた生徒の子どもを指導しています。大学時代に取得した二種免許が、再任用で役に立つとは思いませんでした。小学校の指導は初めてですが、中学校理科教師だった経験を思い出して元気な子どもたちと、毎日楽しく授業で触れ合っています。

笑顔と健康で

川口班 安藤 比呂子

たくさんのお出会いとその縁に感謝の念でいっぱいです。

四月からは、初任者指導として勤務しております。子ども達の「笑顔」のために、今まで教え導いていただいたことを少しでも後進

に伝えることができると、日々「笑顔と健康」で勤務に励んでいます。さらに今後は、旅行や趣味などの世界を広げていきたいと思っています。

親睦の輪を一層広めた群馬の旅

六月十二日(水)第六回南部支部親睦旅行が行われた。当日は、三十名の会員が参加し、群馬県甘楽町楽山園(国指定名勝)・こんにやくパークの見学の後、鳥めし本舗で和気藹々と食事。その後、臨光閣(国指定重要文化財)を見学、思い出に残る楽しい一日を過ごした。今年も、各班内で積極的に声をかけて参加者を増やしたとの報告があり、声かけの成果が実感出来た。梅雨の晴れ間の晴天にも恵まれ南部支部会員の親睦の輪を一層広めた有意義な旅行となった。

(和田 悦男)



令和元年度南部支部親睦旅行 群馬県甘楽町 楽山園にて 6. 12

支部だより

本年度の主な活動

◆支部総会 令和元年度の支部総会は、五月十七日(金)川口市立並木公民館に於て開催。開會行事では神山支部長の挨拶に続き川口市長奥ノ木信男様の激励のメッセージ披露、川口



市学校教育部長兼学務課長森田吉信様、県教育局南部教育事務所長宮尾孝様、県退職校長会副会長井上清様、

小中学校長会代表南部小学校長会長三浦伸治様からご挨拶とご講話をいただき、顧問の栗原

喜一郎様・山屋敬典様のご臨席のもと見識を高めていただいた。続いて朝霞班志摩範夫理事の司会(議長

により議事が進められ、慎重審議の結果すべて滞りなく決定された。

◆会報「かけはし」の発行

会員相互の一層の親睦と連携を目指し本年も年三回発行する。

51号(八月) 52号(十一月) 53号(二月)

◆現職退職校長教育推進協議会

令和元年度協議会は十一月二十日(水)川口市立並木公民館で実施と七月五日(金)準備委員会にて決定。開催に向け準備が開始された。

◆専門部活動一層の普及充実

去る六月十二日(水)には福利厚生部が前橋方面に親睦旅行を実施、参加者多く盛会でした。更に多くの方々の参加をお待ちしております。

◇令和元年度諸行事について

本年は役員の改選期であり幾人かの交代があった。役員・行事・予算等についても総会要項をご覧下さるようお願いいたします。

◇県退職校長会定期総会

県総会は六月七日(金)川越市「ウエスタ川越」にて開催され、県内各地から大勢の参加を得て盛会であった。

◇令和元年度当初会員数

班	会費納会	長寿員	計	左の内会 新員
川口	200	17	217	12
蕨・田草	69	5	74	2
朝霞	87	5	92	3
計	454	37	491	18

(安東 幸甫)

◆ご冥福をお祈りいたします

鈴木 春雄様 (川口) 7/21 八十五歳
鈴木 憲三様 (朝霞) 1/17 八十六歳
柴崎 政道様 (蕨戸) 3/19 八十六歳
玉木 清一様 (川口) 4/16 八十二歳

◆氏名誤記のお詫びと訂正のお願い

かけはし五〇号四ページの計報の倉林照雄様のお名前に誤りがありました。申し訳ございませんでした。ご訂正くださいますようお願いいたします。

正 倉林照雄 誤 倉林輝雄

班だより

◆川口班

五月十二日(日)川口市青木会館において、市教育長をはじめ九十三名の会員の参加を得て、総会並びに懇親会が盛会裡に行われました。



川口班は行事やクラブ活動も盛んで、会員の親睦を深めています。以下活動の概要を記します。

《行事》

①親睦旅行：九月二十五日、世良田東照宮、足利学校方面へ。

②文学散歩：十月二十五日、神田神保町界隈へ歴史のロマンを求めて散策。

③美術展：総会時に開催。自慢の盆栽、絵画、写真、手芸、書道、俳句、出版の



各分野から計七十五点を展示。《クラブ》

①俳句の集い：俳句や短歌合わせて力作揃いの十五作品

②健康教室：ヘルシー料理づくりとウォーキングの実技教室。

③盆栽教室：盆栽展の鑑賞教室と五葉松の植え付けの実技教室。

④ゴルフクラブ：年四回のコンペと終了後の楽しい懇親会。

⑤写真クラブ：撮影会は年2回。撮影会後の研究会が楽しみ。

⑥釣りクラブ：ハゼ釣りと「旨い魚を食する会」を開催。

⑦絵画クラブ：年6回の絵画制作写生会や鑑賞会も開催。

⑧英会話クラブ：月1回の英会話教室。リスニングやコミュニケーションを中心に。現地研修に外国人との触れ合い活動も。

《広報》
◎会報『柏樹』：年二回発行。様々な話題が満載。

《学校支援体制の充実》
◇最終勤務校を基本に、全会員を市内七十六校に振り分け研究発表会に参加する等、各学校への支援を行っています。

(加藤 行雄)

◆あしがき

令和元年度の第一号となる退職校長会北足立南部支部会報「かけはし」第五十一号をお届けします。記念すべき改元の年度初めに、玉稿を賜りました各位に、衷心から御礼を申し上げます。

今年度の編集には◎羽富正晃、○志摩範夫、會田 昭、田代博人の四人の広報部員と、幹事会から◎安東幸甫幹事長、○和田悦男、佐藤 修、松田裕之の各幹事が当たります。これまで同様、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

(羽富 正晃)